

的確な救命活動により、尊い命が救われました！

～港南消防署長から感謝状を贈呈します～

港南区で発生した30代男性の心肺停止の救急事案において、その場に居合わせた医療従事者（医師、看護師）が連携して救命活動を行い、尊い命が救われました。その迅速的確な行動に対し、港南消防署長から感謝状を贈呈します。

1 日時

- (1) 令和3年8月20日（金）午後14時00分から午後14時30分まで
- (2) 令和3年8月20日（金）午後15時30分から午後16時00分まで

2 場所

- (1) 横浜市立大学附属市民総合医療センター（病院長室）
南区浦舟町4-57 代表電話 045-253-5302
- (2) 横浜市立大学附属病院（病院長室）
金沢区福浦3-9 代表電話 045-787-2804

3 被贈呈者

- (1) たなか けんじ
田中 建詞 様（看護師） 横浜市立大学附属市民総合医療センター勤務
- (2) あらかわ ひろかず
荒川 裕和 様（医師） 横浜市立大学附属病院勤務

4 功績概要

令和3年6月11日（金）午前7時30分頃、横浜市営地下鉄港南中央駅に到着した電車内で30代の男性1名が意識を失った状態で倒れていました。駅員等によりホームのベンチに運ばれたところ、その場にたまたま居合わせた荒川さんと田中さんは、男性の容態を確認するや心肺停止状態と判断し、即座に胸骨圧迫とAEDによる電気ショックを実施しました。お二人のこの的確な処置により、救急隊が接触した時には、既に呼吸と心拍は再開していました。

なお、傷病者の男性は、医療機関に搬送された後に回復し、既に退院しています。

5 取材について

取材を希望される場合は、お問い合わせ先又は両病院の代表にご連絡のうえ、当日の表彰開始10分前までにそれぞれの会場の総務課に、直接お越しく下さい。

お問合せ先

消防局港南消防署総務・予防課長 岸 了人 Tel 045-844-0119